

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	07	0401	水田農業経営安定事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	1	農業生産の支援			
目的	農業経営の安定					
対象	農業者、花巻市農業推進協議会					
意図	水田の有効活用に係る各種制度の情報を提供し、制度活用による農家経営の安定を図る。					
事業概要						
<input type="checkbox"/> 数量調整円滑化推進 花巻市農業推進協議会の事務費等への補助金交付 <input type="checkbox"/> 水田農業経営安定対策 対象事業を行う農業者、集落営農組織に市と農協が同額の補助金を交付 <input type="checkbox"/> 経営所得安定対策推進 花巻市農業推進協議会の事務費等への補助金交付						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	米の直接支払交付金対象面積	ha	計画	6,850	6,850	
			実績	6,880	6,639	
②	水田活用の直接支払交付金対象面積	ha	計画	3,706	3,706	
			実績	3,878	3,093	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	農畜産物販売額（花巻農協）	百万円	目標	11,076	10,854	
			実績	9,715	9,591	
②	経営所得安定対策による交付金	百万円	目標	2,750	2,250	
			実績	2,787	2,518	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い <input type="checkbox"/>		概ね目標値どおり <input type="checkbox"/>		目標値より低い <input type="checkbox"/>	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
・平成26年産米の米価下落の影響により、農畜産物販売高は、目標を下回った。 ・米の直接支払交付金が、平成26年産米から半減したものの、経営所得安定対策による交付金額は、目標を上回った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・国の農業政策に対応して市内農業の振興を図るものであり、農業所得の向上を図るために必要であるため。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・米の生産調整は続いており、低利用水田の活用や園芸、畜産の振興を図ることにより農業所得向上の余地があるため。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・水田農業経営安定対策は、市独自の作物振興策であり事業規模を維持する必要があるため。 ・経営所得安定対策推進事業、数量調整円滑化推進事業は、国、県からの事務費補助で定額交付となっているため。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・事業費の1/2～1/3を助成し、かつ市と農協が折半しており、受益者負担額と公的負担額の均衡がとれているため。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価		
・農業経営の安定のために、経営所得安定対策の実施に必要な地域段階での事業推進や市町村段階で実施する米の生産数量調整に係る事務を円滑に実施することにより、本市の農業振興を図った。 ・農業経営の安定のために、米の需給調整に対応した水田の有効利用を図り、野菜や果樹等の作物振興を図った。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 安部慎司 内線 6-293

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	06	01	07	0401	水田農業経営安定事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			41,143		
財源内訳	国・県		23,828		
	地方債				
	その他				
	一般財源		17,315		

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部経営方針における目標				
収益性の高い農畜産物の生産を進める。				
事業開始の背景・経緯				
米の生産調整が実施され、単なる減反から転作作物の導入が必要となり、個別の助成事業を実施していたが、これらを統合して水田農業経営安定対策事業として実施している。更に、国、県の推進事業費を実施主体の花巻市農業推進協議会に補助している。				
事業概要				
○数量調整円滑化推進 花巻市農業推進協議会の事務費等への補助金交付				
○水田農業経営安定対策 対象事業を行う農業者、集落営農組織に市と農協が同額の補助金を交付				
○経営所得安定対策推進 花巻市農業推進協議会の事務費等への補助金交付				
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等				
・水田農業経営安定対策事業の実施内容については、毎年度事業実施主体と協議しながら見直しを図っていく。 ・経営所得安定対策の見直しが進められており、今後の動向を注視する必要がある。				

《事業手法の詳細》

- 水田農業経営安定事業
- ①数量調整円滑化推進事業補助金 1,310千円
需要に応じた生産により米の需給と価格の安定に資するため、花巻市農業推進協議会が実施する事業に助成する。
《内容》
水稲生産実施計画書の作成、米の生産調整実施者の確認、認定方針作成者別の需要量の算定、情報提供、生産調整方針の適正な運用に関する助言、指導
- ②水田農業経営安定対策事業補助金 17,315千円
米の需給調整に対応して野菜や果樹、花き、雑穀、畜産等へ作付誘導することによって、農業所得の向上と経営の安定を図る。
《内容》
- ・アスパラガス倍増3ヵ年事業 3,623千円
県内一番（JA花巻）の作付面積のあるアスパラガスの更なる面積拡大を行い産地形成を図る。
 - ・園芸生産拡大支援事業 2,448千円
園芸団地形成を図るため、野菜の作付拡大を図るとともに農家の所得確保を図る。契約販売による農家所得の安定確保を目的に新規玉ねぎ産地の確立を図る。農家所得の増大と彩花本数の向上を図るため、りんどう産地として市場から信頼される長期継続出荷に向けた新品種生産に取り組む。
 - ・果樹産地育成支援事業 2,860千円
生産性が低下した園地において、優良品種の新・改植を行うことにより、高品質な果樹産地としての整備を行う。（りんご、西洋なし、ぶどう）
 - ・環境保全型農業推進対策事業 909千円
農業用廃プラスチックの回収処理について、農業者の啓蒙と適切な処理を推進する。
 - ・雑穀産地確立事業 1,880千円
市内で生産されている雑穀の中でも需要の高い、あわ・いなぎび・ハトムギの増反を図る。
 - ・反収向上対策事業 1,145千円
反収の向上を図るため、自動点滴灌水装置の導入を推進する。
（果菜類、アスパラガス、りんどう）
 - ・基礎雌牛増頭推進事業 2,800千円
肉用繁殖牛及び乳用牛の地域内導入並びに自家保留に係る経費の一部を助成
 - ・花巻産牛銘柄確立対策事業 1,650千円
花巻市産の肥育素牛の導入及び自家保留に係る経費の一部を助成
- ③経営所得安定対策推進事業補助金 22,518千円
経営所得安定対策の実施に必要な地域段階での事業推進や要件確認の事務を行う花巻市農業推進協議会に対して事務費を助成する。
《内容》
米の農業者別の生産数量目標の設定ルールの検討、算定、産地資金の要件設定、生産数量目標の達成の確認、水田活用の対象作物の作付面積の確認、システム入力、交付申請書の配布、申請支援等